

記者提供資料	2025年(令和7年)5月30日
問い合わせ先	明石市漁業組合連合会 明石市豊かな海づくり課(担当:渡邊) TEL:918-5254(内線:2585)

明石市内の園児・児童による「稚魚放流」と「たこつぼ絵付け」の実施 ～あかしの豊かな海を未来へ～

本会では、豊かな海づくりの機運醸成を図るため、担い手（将来の消費者）育成の試みとして、下記のとおり市内の園児・児童により取り組み、こどもたちと豊かな海づくりへの思いを共有したいと考えております。

記

1 目的

豊かな海づくりの取り組みを子どもたちから発信していくとともに、「明石のたからもの」である、「明石だこ」や「豊かな海づくり」について親しみや関心を持ってもらいシビックプライドの醸成を図る。

2 日時場所・内容

月 日	時 間	場 所	内 容
6月6日(金)	9時30分～11時頃	二見こども園、 毘沙門浜 (ザザンカ公園南の海岸)	出前授業 ヒラメ稚魚放流
6月20日(金)	10時45分～12時25分 (3・4校時)	錦が丘小学校図工室	活タコの出前授業 (講師:漁業者) たこつぼ絵付け

3 主 催

明石市漁業組合連合会(会長 橋本 幹也)、明石市豊かな海づくり課

4 協 力

兵庫県環境部水大気課、(公財)ひょうご豊かな海づくり協会 等

5 参加者

二見こども園園児（5歳児45人）、錦が丘小児童（3年生68人）、市内漁協関係者、市職員 等

6 備 考

園児の稚魚放流については、9時30分から15分程度出前授業を行った後、海岸に移動し、準備が整い次第、10時15分頃から海岸で放流を開始予定です。その後、関係者全員で記念撮影を行います。
※稚魚放流は少雨決行、荒天中止。絵付けは午前7時現在、警報発令時中止。

ともに駐車スペースの準備はありません。

(問い合わせ先)

明石市環境産業局

産業振興室 豊かな海づくり課(渡辺・福田)

078-918-5254

1 稚魚（種苗）放流事業

持続型漁業の実現を目指し「とる漁業から育てる漁業へ」を合言葉に、資源管理の一つとして昭和42年から実施しています。種苗生産施設から稚魚の供給を受け、明石市沿岸地域の適地に放流する事業です。資源の保護や増殖に関する啓発をするため明石市漁業組合連合会が本事業を実施しています。

令和6年度種苗放流実績				
魚種	マコガレイ	ヒラメ	マダイ	キジハタ
実施日	5月9日	5月23日	7月18日	8月20日
尾数	15,000 尾	51,000 尾	30,000 尾	7,000 尾
平均	43.3mm	80.7mm	50.1mm	61.4mm
最小	29.2mm	68.9mm	43.3mm	52.0mm
最大	67.7mm	88.0mm	56.6mm	69.9mm
放流場所	八木沖～魚住沖	藤江沖	松江沖	江井ヶ島港内
	15,000 尾	18,000 尾	12,000 尾	7,000 尾
		二見沖	江井ヶ島沖	
		33,000 尾	18,000 尾	

2 産卵用たこつぼ投入事業

昭和41年から、市と市漁連が連携し、素焼きの産卵用たこつぼを投入しています。これまで58年以上にわたり投入した、たこつぼの数は、のべ20万個以上におよびます。さらに、漁業関係者独自の取り組みとして、たこつぼの中で産卵した抱卵親タコを捕獲した際には、たこつぼごと海へ再放流する取り組みも同時に実施しています。



3 昨年の取り組み状況



マダコが明石の海にたくさん生まれ、育つよう産卵用たこつぼに思いや願いや絵を描く特別授業

